

日光白根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会

設置趣意書

1. 設置目的

日光白根山は群馬県利根郡片品村・栃木県日光市に位置する活火山であり、約2万年前に活動を開始したと考えられており、有史以降の活動で、最も規模が大きかった1649年の水蒸気噴火では、戦場ヶ原で数十センチの降灰があったとの記録が残っています。

このことから、群馬県、栃木県の各関係機関により平成24年8月「第1回日光白根山勉強会」を開催し、計4回の勉強会の開催を経て、平成26年3月「日光白根山火山防災協議会」が設置され各種の火山噴火対策が検討されているところです。

また、気象庁は、平成28年12月6日14時から日光白根山の噴火警戒レベルの運用を開始しており、レベルに応じた防災対応の概要が示されています。

これを受け、利根川水系砂防事務所・日光砂防事務所においても日光白根山の万が一の噴火に備えた「日光白根山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の策定に向けて検討するため、学識者及び行政委員、関係自治体から構成される「日光白根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会（仮称）」を設置いたします。

この委員会では、日光白根山において想定される噴火現象と土砂移動現象およびその推移、想定される影響範囲、計画の対象とする土砂移動現象、対策方針及び具体的な対策の内容について検討いたします。

2. 検討委員会の構成

検討委員会の構成は、別紙のとおりです。

3. 委嘱期間

ご承諾の日から、2020年3月末日までといたします。

4. 検討委員会の開催予定

第1回検討委員会	2019年	2月22日	実施
第2回検討委員会	2019年	6月頃	実施予定
第3回検討委員会	2019年	10月頃	実施予定
第4回検討委員会	2019年	12月頃	実施予定

日光白根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会委員名簿

No	氏名	所属、役職
1	伊東 明彦	宇都宮大学 教授
2	執印 康裕	宇都宮大学 教授
3	中村 洋一	宇都宮大学 名誉教授
4	堀田 紀文	東京大学 准教授
5	石塚 吉浩	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 火山活動研究グループ長
6	桜井 亘	国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 深層崩壊対策研究官
7	水野 正樹	国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ 上席研究員
8	西脇 誠	気象庁 地震火山部 火山課 火山監視・警報センター所長
9	本多 誠一郎	気象庁 宇都宮地方气象台 台長
10	田代 誠司	気象庁 前橋地方气象台 台長
11	斎藤 均	林野庁 関東森林管理局 日光森林管理署長
12	阿久津 聡	林野庁 関東森林管理局 利根沼田森林管理署長
13	水崎 進介	環境省 関東地方環境事務所 日光国立公園管理事務所長
14	佐藤 寿延	国土交通省 関東地方整備局 河川部長
15	北條 俊明	栃木県 県民生活部 危機管理課長
16	斎藤 治秀	栃木県 県土整備部 砂防水資源課長
17	堀越 正史	群馬県 総務部 危機管理室長
18	大竹 哲也	群馬県 県土整備部 砂防課長
19	大嶋 一生	栃木県 日光市長
20	横山 公一	群馬県 沼田市長
21	梅澤 志洋	群馬県 片品村長
事務局		国土交通省 関東地方整備局 利根川水系砂防事務所
〃		〃 〃 日光砂防事務所